



共に生きる

今、CDAができること

～新時代に向けてあなたは何を描きますか～

◆登壇者のお知らせ◆

いよいよ令和元年、私たちはまた新たな時代を迎えます。人口知能と人間、情報と感情、一見相反するように思えるそれぞれのキーワードを因数分解してシンプルに捉え直し、対話を通して明日を描くヒントにしましょう。

◎科学技術の進展とともに、私たちを取り巻く環境も大きく変化しています。Society5.0時代の到来が叫ばれる中、これからの社会で求められる人財や課題について、テーマも交えながら三須氏にお話しいただきます。

■三須 敏幸 氏

1965年12月、広島県千代田町(現 北広島町)生まれ
 広島大学グローバルキャリアデザインセンター副センター長・教授
 主な経歴等

1988年に米国の大学を卒業後、地元企業でエンジニアになる。

理論物理学への興味から再渡米し、1997年に博士号(Ph.D.)取得。

帰国後は、大学等で原子核の謎に迫る理論研究や癌治療用加速器の小型化研究に従事。

2005年からは国の研究機関に移り、日本の科学技術政策立案のために必要な調査研究を担う中で、博士人材のキャリアパスについて初の全国調査も実施。

その後、国際機関で同様の国際比較プロジェクトを担当し、2014年から広島大学へ。

現在、多くの企業と協働しながら、中国四国地方を中心とする西日本エリアの博士学生や若手研究者を対象としたキャリア開発プログラムを企画・運営。



◎同じ経験をして、皆それぞれ異なった感想を持ちます。それを支えているのが、各々の価値観や固定観念、先入観や既成概念といった個人的な物差しです。己を見つめることから始まる禅や、ストレスの背景にある「とらわれ」の扱い方、また臨床心理士の立場から吉村氏にお話しいただきます。

■吉村 昇洋 氏

1977年3月、広島県生まれ

曹洞宗八屋山普門寺副住職

公認心理士／臨床心理士／相愛大学非常勤講師

主な経歴等

曹洞宗大本山永平寺での2年2ヶ月間の修行経験をベースに、禅仏教や臨床心理学、

精進料理、仏教漫画に関する講師、執筆活動を積極的に行う。

日々の自坊での副住職。精神科医院での公認心理士業務の傍ら、RCC テレビ『イマなまっ!』



のコメントーター、NHK 総合『ごごナマ』や NHKE テレ『きょうの料理』にて禅仏教及び心理学の講師としても人気を博す。

執筆では『中国新聞』にて宗教コラム連載「放てば手にみてり」を担当。

近著に『禅に学ぶくらしの整え方』(オレンジページ)のほか、『心が疲れたらお粥を食べなさい』
『気にしない生き方』(いずれも幻冬舎)。『週末禅僧ごはん』(主婦と生活社)など著書多数